



## 滋賀県サッカー界の夢

(公社) 滋賀県サッカー協会 (SFA) 会長 松田 保

SFA「夢」宣言(2007)のスローガン「スポーツ文化の創造」「滋賀県民の幸せ」「社会貢献」「フェアプレー」のあくなき追求と、日本を代表するプロチームの創出を二巡目びわこ国体に向け、積極的に推進してゆかねばならない。日本で唯一Jリーグの試合ができる競技場がない県として、長年苦い思いをしてきたが、9年後の2024年には二巡目びわこ国体の主会場となる陸上競技場(1種公認・1.5万人収容・J2対応)が滋賀県立彦根総合運動公園に完成する。それまでにJリーグの準加盟(百年構想クラブ)の資格を得て、J3・J2・J1へとステップアップを図る2003年来の夢の構想であった、オール滋賀(産・官・学・民一体型クラブチーム)を出来るだけ早期に具体化してゆきたい。

滋賀県のサッカーは、全国五指に入る古い歴史と伝統を持っている。創設時より諸先輩の多大なご尽力により、全国に誇れる素晴らしい実績や人材を生み出す土壌を創ってきた。特に昭和54年滋賀インターハイ・昭和56年びわこ国体では滋賀のサッカーレベルを全国トップクラスに引き上げた。1992年長浜ドーム竣工記念行事では当時日本一に輝いていた日産自動車を招待し、オール滋賀(日本代表望月・上野・井原の3名を含む)とのドリームマッチが行われ3-1で勝利する快挙を成し遂げた。1993年に発足したJリーグで優勝が争えるメンバーを輩出していたのであり、当時スタジアムさえあれば滋賀にプロチームを誕

生させることができたのである。今もJリーガーの輩出率は全国第3位であり、二巡目びわこ国体こそ一貫指導システムを更に機能させ、国体で活躍した少年少女がそのまま滋賀のプロチームで活躍し、フランクフルトで活躍している乾選手のように世界で羽ばたく選手が多く出てほしい。

今こそSFAが掲げるスポーツ文化を地域に根差す100年構想を進展させ、スポーツ基本法が謳う「スポーツで もっと幸せな国へ」を具現化し、滋賀から世界へオリジナルのスポーツ文化・サッカー文化(Biwako's Way)を発信する、スポーツ王国といわれる地域となることを目指したい。



### information

## ウェルフェアオフィサーの設置について

日本サッカー協会は、サッカーの現場における差別、暴力等を根絶すべく取り組んできたが、まだまだ根絶されていない現状があるため、2016年より、新たに「ウェルフェアオフィサー」を各都道府県サッカー協会や各種連盟、競技会、チームに設置します。

その役割は、リスペクトやフェアプレーを啓発、促進し、暴力、差別等の予防活動を通じて問題を未然に防ぐ、また、顕在化した諸問題に対応、問題解決を図ると共に、問題の内容や重大さによって司法機関や諸関連組織への橋渡しとなることを目指します。

具体的には、県内での日常の練習会や競技会におけるリスペクト、フェアプレーの啓発、促進、暴力や差別等の

予防活動や、それを実践するための研修会や講習会を通じた教育活動、また、相談窓口対応や事案対応などを行うことになっています。

2015年はその準備として、日本サッカー協会の認定講習会を受講した者が「ウェルフェアオフィサー(ジェネラル)」として、県協会事務局に設置されます。以降、県内での講習会を受講した者が「ウェルフェアオフィサー」として認定され、各種連盟やチームに設置され活動していくことになっています。

サッカー界から差別、暴力を根絶するための新しい取り組みですので、是非お知りおきください。



# 2015年度 活動報告

**女子** キッズから大人まで女性が楽しめるサッカーイベント「JFA レディースガールズフェスティバル」が滋賀県内で開催され、6月7日in栗東では186名、7月12日 in聖泉大学では112名が参加しました。参加者は大学生らによるサッカークリニックやミニゲームなどを楽しみ、普段は交流の少ないキッズ年代と大学生との交流が生まれるなど、普及活動を通じて女子サッカーの新たなきずなが深まるイベントとなりました。



U-12トレセンでは、滋賀県内で活躍する将来有望な選手の発掘と育成を目的として活動しています。昨年からガールズエイト事業が加わり、16名の増員を行うことで、選手のスキルやレベルアップの向上と交流により選手間の相互努力を期待しています。また、「滋賀県の選手は滋賀県で」の思いも込めて、技術的に一貫した育成がU-15世代へ引き継げるよう指導者間のコミュニケーションも密にし、滋賀県女子サッカーの普及とトップレベルの選手育成に努めていきます。

## 4種 4種の事業開催時期の変更について

今年度より、全日本少年サッカー大会の開催時期およびその予選方式の変更に伴い、県内大会の開催時期が下の表のように大きく変わってきました。

### 平成27年度4種事業計画

年月日	大会名等	会場等
9月27日㊥	第32回関西少女サッカー大会 滋賀県大会	湖南市 親水公園グラウンド
11月8日㊥	全日本少年サッカー大会 滋賀県大会開会式(17:00開始)	栗東文化芸術会館 さくら
11月21日㊥	全日本少年サッカー大会 滋賀県大会 1日目	U-12_ ビッグレイクAB
11月23日㊥	全日本少年サッカー大会 滋賀県大会 2日目	U-12_ ビッグレイクAB
11月29日㊥	全日本少年サッカー大会 滋賀県大会 最終日	U-12_ ビッグレイクA
12月25~29日	全日本少年サッカー大会 全国大会	鹿児島県
12月6日㊥	京滋親善大会	U-12_ ビッグレイクAB
H28年 1月10日㊥	全農杯県大会1日目	U-10_ ビッグレイクAB
1月11日㊥	全農杯県大会決勝	U-10_ ビッグレイクA
1月23日㊥	木下杯開会式 (18:30開始)	湖南市体育館 【確定】
2月	第8回京滋チャンピオンカップ 滋賀県予選	日程会場未確定
2月7日㊥	木下杯県大会1日目	U-11_ ビッグレイクAB
2月21日㊥	木下杯県大会2日目	U-11_ ビッグレイクAB
2月21日㊥	木下杯県大会最終日	U-11_ ドラゴン ハット(予約済)
3月	平成27年度 キャンガールズ・エイト	日程会場未確定

## シニア 高校OB交流大会

8月23日、恒例となりました県内の高校OBチームでの交流大会が開催されました。

好天にも恵まれ、守高OB、比叡山OBなど5チームにより僅差の好ゲームばかりでした。

高校時代とは容姿も変わりましたが、友情は変わらず。来年も開催致します。



## ねんリンピックおいでませ！山口へ

10月17日～20日まで山口市にて開催されます。

60歳以上の全国64チームにより、毎年熱い試合が開催されています。「生涯現役」を合言葉に、今年も選抜で選ばれた滋賀県チームも参加します。

## フットサル

フットサル委員長 大谷 浩志

1種のフットサルは、今夏「第31回全国選抜フットサル大会」に関西代表として3年ぶりに全国大会出場権を獲得しました。関西大会は、予選リーグ1勝1分けで首位通過し、関西代表1枠をかけた決定戦で兵庫県に3-1で勝利し、激戦の関西大会にて、優勝をすることができました。10月の全国大会では、前回の成績を上回るように、最低でもベスト4また頂点を目指して頑張ってくれることを期待します。



大学選手権では、昨年は立命館大学が全国2位という成績を収め、今年度もレベルの高い県予選が開催されました。混戦を抜け出し、滋賀県立大学が滋賀県代表となり、関西大会に挑みましたが、惜しくも関西代表になることはできませんでした。

2種年代に関しては、昨年滋賀県勢が全国4位ということで注目していましたが、今年は、八幡商業が、滋賀県代表として、関西大会を戦ってくれました。滋賀県大会関西大会と、試合を経験するごとにフットサルにも慣れ善戦していただきましたが、関西大会で惜しくも全国の切符をつかむことができませんでした。

3種年代に関しては、男子はラドソン滋賀U-15、女子はおおつピクトリーズが、滋賀県大会を制し関西大会の出場権を手に入れました。その中でも、女子滋賀県大会に虎姫中学校サッカー部女子部員が出場し、公式戦出場機会の少ない中、普段は男子部員の中に混ざってサッカーの練習に励み、登録人数6人という少ない人数にもかかわらず残り数秒、滋賀県代表が見えかけた折、あと一歩のところまで代表を逃しましたが、彼女らの戦いが多くの感動を呼びました。ラドソン滋賀U-15、おおつピクトリーズ、男女ともに関西大会の予選リーグを首位通過し、関西代表決定戦に進みましたが決定戦に敗れ、ともに全国大会出場はできませんでした。来年度に期待します。